

Fukushima City Business Meeting

令和7年2月26日(水)

福島市長 木幡 浩



はじめに

“新しい取り組み”を生み出すまち、福島市！

○産業の振興 & 地域の活性化

- ・企業や産業の集積
- ・新たなチャレンジの創出

創造的な経済体質
への転換

今日のテーマは
“創業支援”！



抜群の交通利便性 南東北の交通の結節点

新幹線 (福島駅より)

東京駅 最短78分！

宇都宮駅 約 50分

仙台駅 約 20分

高速道路 (福島大笹生ICより)

浦和IC 約170分

栃木都賀JCT 約120分

山形中央IC 約 60分

仙台南IC 約 40分

空港

(福島駅より)

福島空港

仙台空港

約60分

約60分

ふくしまスカイパーク 約20分

(滑走路800m)



福島イノベーションコースト ・大学等の連携



福島ロボットテストフィールド

無人航空機、災害対応ロボット、水中探査ロボットといった陸・海・空のフィールドロボットの一大開発実証拠点。



福島水素エネルギー研究フィールド(FH2R)

18万㎡の敷地内20MWの太陽光発電を利用した世界最大級の水素製造施設。



JAEC廃炉環境国際共同研究センター(CLADS)

福島第一原子力発電所廃炉に関する研究開発、国内と世界との連携を行うハブとなる機関。



福島国際研究教育機構 (F-REI)

ロボットやエネルギー、放射線科学など、我が国の科学技術力・産業競争力の強化をけん引する「創造的復興の中核拠点」を目指す。

福島県浜通り地区
への玄関口！

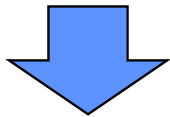


<近隣の主な理系大学等>

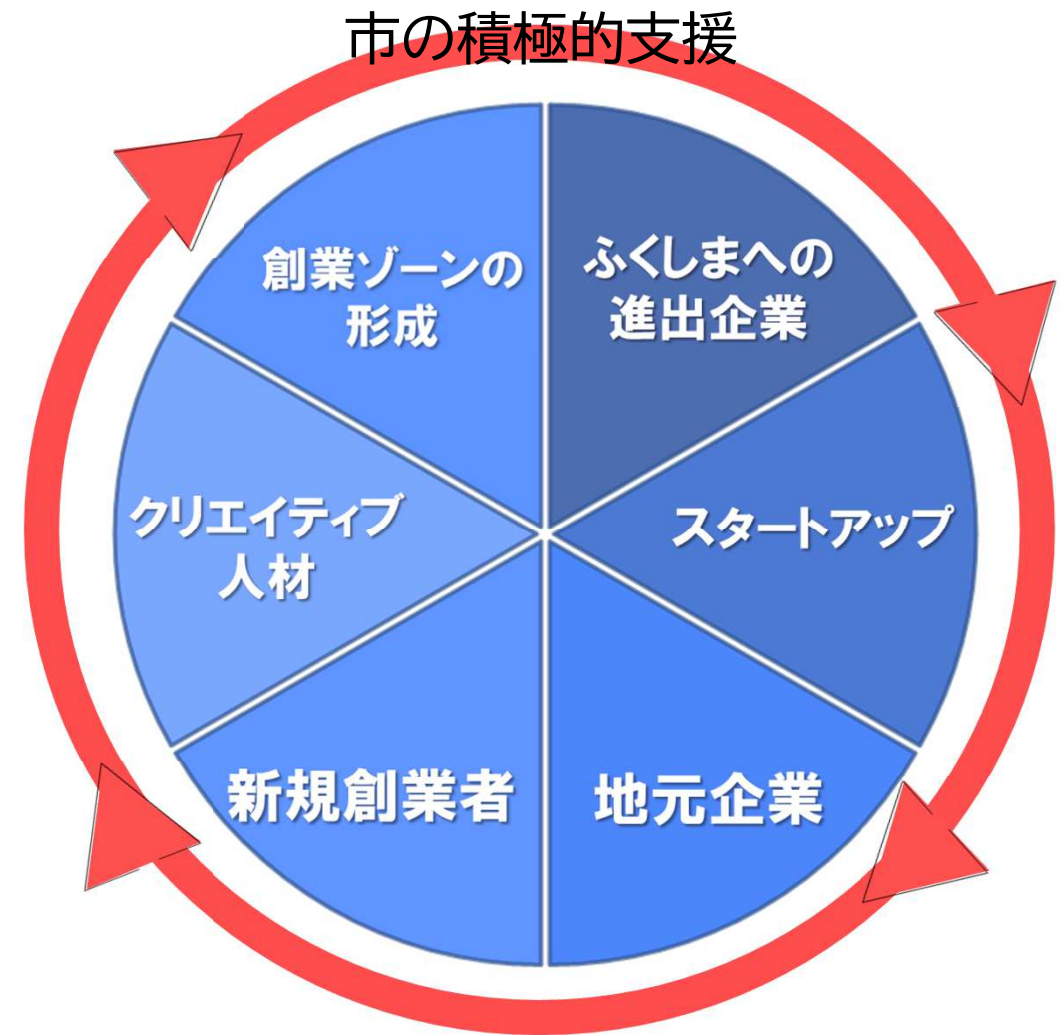
- 【福島市】 県立医科大、福島大、福島学院大、桜の聖母短大
- 【郡山市】 日大工学部、奥羽大
- 【会津若松市】 会津大 【いわき市】 福島高専
- 【仙台市】 東北大、東北学院大、東北工業大、東北医科薬科大
- 【米沢市】 山形大工学部
- 【山形市】 山形大、東北芸術工科大

企業の進出・ 成長を応援！

企業・創業者の集積と交流、
協業による相乗効果
市の積極的支援



新たなビジネス誕生
ビジネスチャンスの拡大！





本市のビジネス支援

○企業・産業の集積を目指して

- ・新製品・新技術開発の支援
- ・創業の支援
- ・まちなか創業ゾーンの形成
- ・女性の起業支援
- ・本社・支社の移転開設支援
- ・企業誘致の推進

新製品・新技術開発の支援

ふくしまチャレンジフィールド

マーケティング	市民・市職員による新商品のモニタリング
実証試験	実証試験のための場の提供・調整
新製品共同開発	企業と市・市内企業で新製品の共同開発
マッチング	共同開発社や取引相手のマッチング
その他	国等への合同補助申請ニーズに柔軟に対応



耐久性や使い勝手を実験し、商品化！
「抗ウイルスシート」



宿泊業から製造業へ！
糴を使用した
「美糴フロズン甘酒」

新製品等開発支援

事業区分	補助率	1社あたり補助額
特定集積産業	3/5	上限300万円
医療福祉機器等		
ロボット・航空		
食品加工		上限100万円
一般枠	1/2	上限 50万円

新製品・新システム応援制度

企業の新製品・新システムの買取等により活用を促し、認知度向上、販路拡大を応援

創業の支援(ビジネス拠点)

クリエイティブビジネスサロン

○コワーキングスペース

・1時間単位のフレキシブルな利用が可能

○JR福島駅西口より徒歩3分(駅チカ)

○様々な事業者とのマッチングの機会

・年に数回の主催事業を開催(不定期)

○シェアオフィス、交流スペース、会議室なども併設

※駅周辺には

県のインキュベーション施設、
民間のシェアオフィスやコワーキングスペースがあります

詳しくはこちら▽



まちなか創業ゾーンの形成

まちなかに**創業者やクリエイティブな事業者を集積し、**
化学反応でさらなる新事業の展開と集積を！賑わい創出も

改装費用と家賃をダブル補助 ※補助金ごとに対象エリアが一部異なります

新規出店のための内外装工事等支援

【補助対象】

①各種工事費

内外装、給排水、空調設備ほか

②各種委託費

デザイン、工事設計、工事監理

③ネットワーク環境接続費

初期投資のみ

補助率	店舗面積・限度額		
クリエイティブ産業 1/2 各種産業 1/3	100㎡未満	100～200㎡	200㎡以上
	100万円	200万円	300万円

街なか空き店舗出店支援(家賃補助)

【補助対象】

○地域

中心市街地の一部

○店舗

空き店舗、新規店舗、空き家

○事業者

中小企業等(小規模事業者、個人事業主を含む)



対象者	補助率			限度額
	1年目	2年目	3年目	
①アパレル産業	8/12	6/12	4/12	240万円(月20万円)
②クリエイティブ産業(新規創業者のみ)				
各種産業	6/12	4/12	2/12	180万円(月15万円)

まちなか立地集積の支援

街なかにおいて、特定の都市機能を有する**建物の新增改築**を支援

対象	補助率	上限額
①建築費(修繕費含む)	1/10	1億円
②既存建物の取得費(修繕等が前提)	1/20	①とあわせて1億円
③既存建物の解体費(建替えが前提)	1/10	5千万円

【対象となる都市機能】

・ホテル等宿泊、教育関連、商業、オフィス、医療関連、文化芸術関連

女性の起業支援

ふくしま起業女子応援パッケージ
姉妹のように起業姉さんが応援します！

★先輩女性起業家＝起業姉さん
★起業を目指す女性＝起業妹さん

街全体で起業を応援
ふくしま起業女子応援パッケージ

具体的な起業の準備

起業

起業妹さんの
独り立ち

専門機関への相談
金融機関
中小企業診断士
支援制度の活用
チャレンジジョブ
空き店舗家賃補助等

起業へ向けた
ネットワーク

タテ/ヨコのつながりによる
コラボ事業が増加中！！

起業体験

お試し
ワンデー起業

◎市場調査を兼ねて
“1日起業”を体験

実際に
やってみよう！

起業を肌で
感じよう！！

同じ夢を持つ
仲間を作る

先輩に
聞きたい！

起業って
なに？

学び・出会い

チャレンジ講座

◎わたし自身をもっと知ろう
◎起業とはなに？
◎起業の基礎を学ぼう

起業姉妹カフェ

◎起業姉さんとの交流
◎仲間づくり

起業支援の
スペシャリスト

様々な業種の
先輩女性起業家

スタート！

起業知識ゼロでもOK！

職場体験

仕事場見学
【起業姉妹カフェの一部】

プチインターンシップ

◎起業姉さんの仕事場で仕事の
流れや方法を体験

起業姉妹サイクル

妹から姉へ成長！

そして、起業姉さんとして
新たな起業妹さんへ起業を伝授

本社移転・支社開設の支援

「本社移転」もしくは「支社移転・開設」

オフィスの改修費用 + 設備購入費 + オフィス賃料 ⇨ 最大 **500万円** 補助！（経費の3／4）

～ゆとり満喫エールパスポート～

働く方が福島市に転入

二地域居住

オフィス
開設企業

転入支援助成金

1人あたり
20万円

（常用雇用者対象）

家族の引越し支援

1世帯あたり
上限15万円

（1/2以内）

農業満喫支援

「わいわい市民農園」

使用料
1年間無料

温泉満喫支援

「湯めぐりパスポート」

入浴料
1年間無料

温泉満喫支援

「入浴回数券」

12枚綴り
1セット贈呈

くだもの満喫支援

「くだもの木
オーナー制度」

無料提供

※このほか、移住者には、移住支援金100万円（県）等の移住支援制度の適用があります。

※企業誘致補助やまちなか出店補助を組み合わせたほうが有利な場合があります。。

企業の進出・成長を全力支援！

助成金名称	工業団地に立地	工業団地以外に立地
用地取得助成金	用地取得費の 40%or60% (★)	用地取得費の 30%or40% (上限7千万円or1億円(★))(★)
雇用奨励助成金	新規地元常用雇用者 <u>1人につき</u> 20万円×3年間or5年間 (★)	
転入支援助成金	本市に転入する常用雇用者 <u>1人につき</u> 20万円	
操業奨励助成金	固定資産税相当額×3年間or5年間 (★) (上限 年 2,000万円+2,000万円を超える額の1/2)	
	【市内で新たな設備投資を行う場合】 固定資産税相当額の1/2×3年間 (上限 年 2,000万円+2,000万円を超える額の1/2) ※各種要件あり	

【助成金の例】

◎工業団地を1億円で購入



新規地元常用雇用者 1人

1年目/ 20万円	2年目/ 20万円	3年目/ 20万円	4年目/ 20万円	5年目/ 20万円
--------------	--------------	--------------	--------------	--------------

転入常用雇用者
1名/20万円

固定資産税相当額

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

最大5年間
助成金交付

※上記(★)の助成割合、期間などは特定集積産業の場合の最大値（特定集積産業：医療・健康、ロボット・航空、農産物加工）

第2期福島おおぞそうインター工業団地 予約販売開始！～IC直結が魅力～

- ◎抜群の交通利便性を誇る南東北のクロスポイント
- ◎道の駅ふくしまとの連携も期待できます

～概要～

住所	福島市大笹生字塚田 外 地内	用水	上水道
現況	造成中(令和8年3月完了予定)	排水	浄化槽
用途地域	工業(地区計画あり)	電力	普通高圧
地目	宅地	ガス	LPガス

～販売スケジュール(予定)～

	令和7年		令和8年	
第1次公募 (A区画)	1月17日 ～ 4月18日	7月	1月	
第2公募 (B～H区画)	6月～9月	11月	7月	





企業との共創

○公民こねくと

- ・公民連携のワンストップ窓口

○スクール・サポート企業登録制度

- ・学校活動の応援

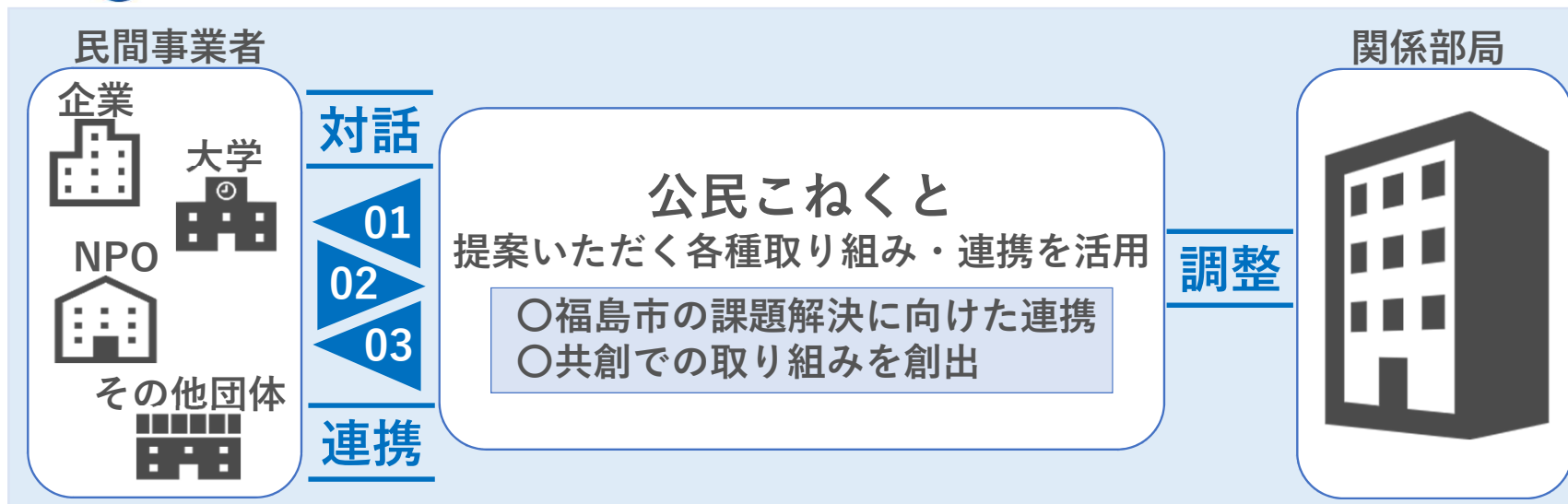
○企業等と共創によるDX推進

- ・デジタル人材バンク、共同製品開発

「公民こねくと」① ～制度の体系～



- ✓ 民間事業者との積極的かつ柔軟な連携・支援
- ✓ 連携・支援を実効あるものにする市独自の多様な仕組み



01.福島市の課題発信
02.提案や相談の窓口

03.公民連携を推進
04.民民連携も後押し

～提案・相談方法～
福島市HPのオンライン申請
フォームからお願いします。

トップと共有しながら
実効性ある体制を整備

取組実績（12件）

は課題提示型

このほか準備中の取組もあり！

実施中

救急医療の交通整理を推進

高齢者施設でのオンライン診療推進の実証

実施済

生ごみ処理容器の普及拡大

店舗での生ごみ処理容器「キエーロ」お手軽基本セットの販売

実施済

財務会計処理の効率化

BPRによる現状分析とフロー見直しの実証実験

実施済

試食・試飲モニター① もものす

6次化新商品の開発を目指す2社が道の駅で試食調査を実施

実施済

試食・試飲モニター② ともがら福栗

6次化新商品の開発を目指す2社が道の駅で試食調査を実施

実施済

腸内フローラ事業

「ふくしまシティハーフマラソン」にてブース出展

実施中

デジタルによる被災者支援の効率化

共同研究で罹災証明受付から家屋調査、支援実施まで効率化
※R7夏頃 リリース予定

実施中

駅前広場の活用計画

福島駅前の広場（シカク広場）にて緑化整備の社会実験を実施

実施済

オンライン教材の導入

不登校児童生徒向けオンライン教材の実証実験。製品改良

実施中

おむつのサブスクの導入

保育施設で導入し、保護者及び保育施設負担軽減効果と課題を検証

実施済

試食・試飲モニター③ ももスコ

6次化新商品の改良を目指す農家が大学と市食堂で試食調査を実施

実施中

消費額日本一！のまちで納豆PR,モニターリング

共同イベント開催、市食堂での無料配布でモニターリング

「公民こねくと」② ～市提案の課題～



01



首都圏の方々と
関わりたい！

02



企業版ふるさと
納税のアプローチ！

03



適正受診で
医療を守ろう！

04



外国人材に活躍
いただきたい！

05



ムクドリ・
カラス対策！

06



CO2削減量を
クレジット化したい！

07



高齢者を
見守りたい！

令和7年1月現在

「スクール・サポート企業登録制度」

登録制度の概要

① 支援企業等の登録

- 市内外を問わず、市内小・中学校等の授業や部活動を支援する意向のある企業・団体・個人事業主等が対象
- 登録内容
 - ・ 企業名、業種、連絡先等
 - ・ 支援できる／したい内容（職場体験／見学学習／出前授業等）
- オンライン申請フォームから登録
(URL) <https://logoform.jp/f/u50SI>



令和7年度の学校活動で活用できるよう、**令和7年3月中旬までの登録**をお願いします。
※以降も随時登録可能

② 支援企業・内容のDB化

③ 市内小・中学校等で情報共有

④ 学校から企業へ支援を依頼

⑤ 学校と企業で日時・内容を調整

⑥ 授業などで支援を実施

- 国立・私立を含む市内の小・中・特別支援学校で登録情報を共有させていただきます。
- これまでも学校において企業等にさまざまなサポートをいただいています。支援事例を裏面に掲載していますので参考にしてください。
- 特に積極的に支援してくださった事業者を、**ゴールド・スクール・サポート企業**に認証いたします（特典あり）。

○学校支援の区分

学習形態	主な教科等
職場体験	・総合的な学習
校外学習	・各教科
学校での授業	・学級活動等、学校行事
部活動	・運動部
	・文化部

○期待される効果（抜粋）

- ・多様な学びの機会の提供
- ・教職員の負担軽減
- ・企業等の認知度向上、イメージアップ
- ・子どもたちの地域への愛着や誇り

日本DX大賞2024優秀賞受賞

1. 地域をあげた推進体制 ～ 福島市デジタル推進協議会
2. 高齢者にもやさしいデジタル化で、デジタル活用のすそ野を拡大
 - ・全国初シルバー人材センターICT班の活動
 - ・高齢者同士がDX活用を支え合う体制～デジタルサポートデスクなど
 - ・マイナカードを活用したタクシー利用助成 ～ 後期高齢者の約1/2が利用見込み
3. 群を抜く内製化によるデジタル改革力と企業と連携した開発・活用推進
 - ①市役所における内製化によるBPR(R5年度46業務、R6年度22業務内製化)
 - ②企業と連携したシステム開発 ⇒ 自治体ビジネスとして製品化も
 - ・2製品化～とうべんリンク(R7;41自治体導入見込み)、被災者支援システム(R7販売予定)
 - ・連携開発改良～オンライン診療、不登校児童学習支援システム、会計システムなど
 - ③デジタル人材バンク～デジタル事業者と地元事業者等とのマッチング
 - ・60事業者登録、19のマッチング実績